

# 高知県立 高知城歴史博物館 OHAKU NEWS

Volume 15

**展示室開室スケジュール** ●令和3年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧頂けます。

3F	12月	令和4年 1月	2月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第4期	1月10日(月)～ 1月21日(金)～	第5期 2月23日(水)～
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第4期	1月1日(土)～14日(金) 1月24日(月)～	第5期 2月4日(金)～ 4月11日(日)
特別展示室 企画展	臨時休館 12月20日・21日・25日	1月8日(土)～ おいしい土佐藩	～3月7日(日)



**おいしくできたらおすそ分け**  
おうちで食べる「おいしい土佐藩」レシピカードを、展示室や協力施設で無料配布。総合レシナビサイト/ブックレットでもご紹介いたします。

**記念講演会**  
「幕末江戸勤王武士の江戸グルメー食から江戸を知るー」  
日時/令和4年3月5日(土) 14:00～15:30  
講師/青木直己氏(東洋大学非常勤講師)

**学芸員によるスライドレクチャー**  
日時/令和4年1月2日・9日・23日、2月6日・20日、3月6日  
いずれも日曜10:30～11:00  
会場/当館3階土佐探索室(要観覧券)

**季節の行事**

**お正月の会**  
博物館でお正月をお祝いする会です。邦楽の演奏をお楽しみください。  
日時/令和4年1月10日(月・祝) 10:00～11:30  
演奏/寿由瀬会と都山流尺八の皆さん  
定員/30名  
参加費/500円

**門松の公開制作**  
当館に設置する門松の制作風景をご覧ください。  
日時/令和3年12月25日(土) 10:00～(20分程度)  
実演/西本達弘氏  
場所/当館北ステージ(屋外)

**城博講座**  
12月～2月

令和3年 12月11日(土)  
歴史講座  
第3回「江戸時代の食文化」  
講師/藤田雅子  
(当館歴史担当学芸員)

令和4年 1月15日(土)  
歴史資料保存講習会  
講師/田井東浩平  
(当館保存担当学芸員)

令和4年 1月22日(土)  
古文書講座  
第4回「江戸時代の古文書②」  
講師/藤田雅子  
(当館歴史担当学芸員)

令和4年 2月12日(土)  
美術工芸講座  
「旅する携物師」  
講師/尾本節子  
(当館美術工芸担当学芸員)

電話・FAX・当館総合受付のいずれかで申し込みください(住所・氏名・電話番号)。  
●各回、開催月の前月1日から受付を行います。  
※申込多数につき、当日ご参加いただけなかった方の場合、希望される方には講義の配付資料を無料でお送りいたします。

**申込方法**  
電話・FAX・当館総合受付のいずれかで申し込みください(住所・氏名・電話番号)。  
●各回、開催月の前月1日から受付を行います。  
※申込多数につき、当日ご参加いただけなかった方の場合、希望される方には講義の配付資料を無料でお送りいたします。

**お得な年間観覧券がオススメです**  
城博の展示は、年間5回の企画展に加え総合展示室2室も約2ヵ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

**年間観覧券/2,000円**  
※有効期間は購入日から1年間。

**各種会員制度もご利用ください。**

**友の会**  
年間観覧券と様々な特典が付いた会員制度です。  
**年間 3,500円**

**情報会員**  
城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。  
**年間 500円**

友の会、情報会員の詳細はこちら

**開館時間** 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は開館の30分前まで

**休館日** 年末 [12月26日～12月31日] ※展示室の休室スケジュールはホームページをご覧ください

**観覧料**

- ◆500円(400円) ※( )は団体20名以上の料金
- ◆企画展開催期間中…………… 700円(560円)
- ◆年間観覧券…………… 2,000円
- ◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
- ◆高校生以下は無料  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、聴覚障害者手帳、被褥者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料。  
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。

**交通アクセス**

- ◆お車をご利用のお客さま 高知自動車道高知ICから約15分。一般来館者の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり。
- ◆JRをご利用のお客さま JR高知駅からとまで交通路電車(はりまや橋)または徒歩5分。高知城南下車、徒歩3分。
- ◆飛行機をご利用のお客さま 高知龍馬空港からは高知市内と空港間を結ぶ連絡バスをご利用頂けます。JR高知駅行きは「はりまや橋」で、県庁前行きは「県庁前」で下車してください。

〒780-0842 高知県高知市追手町2-7-5  
TEL.088-871-1600  
FAX.088-871-1619

高知城歴史博物館

発行日/令和3年(2021)11月22日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館



皆さまのご来館を  
お待ちしております

**高知** 知県からの要請により、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今夏のおとんどを臨時休館していましたが、9月27日(月)より通常どおり開館しております。

総合案内の職員は日々マニュアルの改善や意見交換・提案、出来る限りスムーズなご案内を実現するための多種多様な研修を行っています。

臨時休館期間中にはバリアフリー研修会へ参加した職員による自主研修会を開催しました。実際に車イスやアイマスクを着けて館内の導線を確認したり、設備や機器を利用してみることで、実際にお客様がどういったサポートが必要なのか、私たちは何をすべきなのかを発見・再確認できたとても有意義な研修会でした。

これまでの研修内容を日々の業務へ反映し、全てのお客様がより快適に博物館をご利用いただけるように、今後も改善や研修を重ねてまいります。お困りごとがありましたら、お気軽に総合案内までお声がけください。たくさんのお客様にご来館いただけますよう総合案内職員一同心よりお待ちしております。



**お知らせ**  
**設備工事に伴う臨時休館について**  
令和3年12月20日(月)～25日(土)は、館内設備(障害者用点字ブロック)工事のため臨時休館いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

**年末休館について**  
令和3年12月26日(日)～12月31日(金)は年末休館いたします。新年は1月1日(土・祝)より開館いたします。  
※なお、1月1日は高知城無料開放日のためセット券の販売はありません。

- 12月20日(月)～12月25日(土)…館内設備工事のため臨時休館
- 12月26日(日)～12月31日(金)…年末休館

# Delicious Tosa

Shipjack Tuna, Sarachi Cuisine, Japanese Sake, and the "Okyaku" culture; travel back in time with the tastes of the past

令和4年/2022年

1月1日(土・祝) ~ 3月7日(月) 会期中無休

【協力】RKG調理製菓専門学校、協同組合常設町並

うま 美(味)し国、土佐へようこそ。

海に幸あり、山に幸あり。温暖な気候、豊かな自然に恵まれた土佐国は、目に美しく、食べて美味しい、「うまし国」です。新たな年とともに始まる本展では、和食文化を育んだ江戸時代を出発点に、今につながる土佐の食文化をひもときます。



## おしん 土佐藩

鯛と皿鉢 お酒と「おきゃく」  
グルメな歴史をひもとく味な時間旅行

初雁節句、親戚が集ってのなごやかな宴。今も続く皿鉢料理を囲んで「おきゃく」を思わせる食事風景です。

下可楽月「土佐年中行事絵巻」より  
(高知県立図書館蔵)

明治に入り、庶民のぜいたくも解禁に。土佐にも豪華な料亭が登場し、夜ごと酒宴が繰り広げられました。  
「御月楼絵巻」部分(毎月楼蔵)  
作者不詳、明治時代



### 総合展示室 展示情報 歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

総合展示室 1 第4期 10月22日(金)~令和4年1月10日(月・祝)  
第5期 令和4年1月21日(金)~令和4年2月23日(水・祝)  
ピックアップ 薩摩藩主島津重豪年賀状

今期の展示はお正月にさしかかります。総合展示室1では、8代薩摩藩主島津重豪が12代土佐藩主山内豊資に宛てた年賀状をはじめ、土佐藩にゆかりのある寛政生まれの人々の資料など、一早くお正月を感じていただける資料をご紹介します。



総合展示室 2 第4期 11月19日(金)~令和4年1月24日(月)  
ピックアップ 国宝 高野切

1月1日から14日までの間、「古今和歌集巻第二十(高野切本)」を展示します(これ以外の期間は複製を展示)。千年の時を超え、王朝文化を今に伝える至宝をぜひご覧ください。



企画展



鮪の季節、高知城下町では港から魚市場へと急いで運ぶ人々の姿が風物詩でした。  
下可楽月「土佐年中行事絵巻」より  
(高知県立図書館蔵)



酒造りの行程を12の場面でも描いた屏風。完成したお酒の出来は、試飲の表情でお察しください。  
「酒造り屏風」部分  
(可杜丹酒造株式会社蔵)  
作者不詳、近代

東勢 松の形の 井当箱



土佐藩家老、五藤家に伝わる井当箱。屋形船の屋形部分が重箱です。  
高野切形井当箱  
(安芸市立歴史民俗資料館蔵)  
江戸時代



逸品

古文書をひもとく歴史資料や庶民の生活資料など、6万7千点の土佐藩山内家資料をはじめとした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から、学芸員がオススメの逸品を厳選してご紹介。

## かつお 鯉形の皿

作者不詳 幕末期(19世紀)・全長63cm

見た目も大ききもリアルな鯉形の漆器は、土佐藩屈指の漆器の家に伝わったものです。箱の裏には「府中細工職人、真に「文久三年癸亥五月吉日」とあり、用途が「皿」であること、文久3年(1863)、幕末に入手したものと分かります。

玉眼を入れてうるんだ種、威勢よく上に反った尾、背中には鯉泥で鱗を描いてあり、蓋を開けると、赤身を意識したのか鮮やかな朱塗りの内面があらわれます。発注者の酒落、府中(おそらく高知城下町)の職人がこだわりぬいた手仕事が生み出した、まさに「土佐らしい逸品」と言えるでしょう。

とはいえ、この皿がとりわけ奇抜な意匠かという点、必ずしもそうではないようです。縁起のよい魚をかたどった器は県内でも他にも例があり、近代には皿鉢料理の食器として広く用いられていたといえます。この鯉皿が「特別でない」とは「土佐人の好みや食文化のありようを考えずにはいられません。その意味でもやはり、本作は「土佐らしい逸品」と思っています。

資料学芸課課長 藤田雅子

### 令和3年度 博物館実習

当館では毎夏、大学の学芸員養成課程の必須科目である博物館実習の受け入れを行っています。今年度、8月18日(水)から26日(木)の日程で行った実習には、大学生5名が参加されました。

まず初日は、当館の概要説明や施設設備の見学等を行いました。そして、二日目からは作業を伴った実務実習がスタート。資料の保存修復、調査整理、展示、教育普及、地域連携といった業務、さらには博物館の運営・管理に関する内容に至るまで、学芸員として必要な技術・知識についての実習を行いました。

最終日、実習成果の振り返りを行った際、学生たちからは、博物館業務の実際を具体的に学ぶことができてよかった、また多面的な視点で博物館の役割、活動の意義等について考える機会となった、といった感想が聞かれました。

連日、休憩時間も惜しんで意欲的に作業に取り組んでいた学生たち、その中で学んだことをぜひ今後に活かしていってほしいと思います。

教育普及課 学芸員 中屋真理

### 講演会 鹿藩置県150年 連続講演会

企画展「藩が消えた日〜四国の藩置県〜」の関連行事として、10月2日・3日に講演会を開催しました。10月2日は国士舘大学教授の勝田政治先生に、「維新政府と鹿藩置県〜鹿藩置県はどのようにして行われたのか〜」をご講演いただき、3日は同大学講師の大庭裕介先生に「藩置県後の法制度と佐佐木高行」をご講演いただきました。

勝田先生は、「維新政府は当時の国家目標のもと、藩体制をどのようにとらえて中央集権化を図ったのか。そして、その方向によって藩置県となったのか否かを探る」と講演の課題を示し、維新政府が藩体制を残したまま中央集権化を図っていたこと、鹿藩置県が実行のわずか5日前に決まり、藩長首脳陣のみで極秘に進められたことなどを説明いただきました。

大庭先生は、高知出身の佐佐木高行が従来言われてきたように、「頑迷な保守主義者なのか?」という疑問を呈し、司法省で法典編纂を進めた佐佐木の実績を評価し、「保守主義というよりも現実的に財政・制度設計の均衡をはかる」、「リアリスト」(裁判所設置よりも法典編纂を目指した現実的な人物)という評価を与えていました。

両日ともに参加した方からは、「藩置県の歴史とその時代に生きた郷土の人物の足跡を知り、もう一度改めて企画展を見てみたいと思った」、「大河ドラマがちょうど同時代を放送していたため、その背景を知ることができて興味深かった」などといったご感想をいただきました。コロナ禍で定員を半数にするなど、開催にあたっては苦慮する部分もありましたが、企画展への理解を深める講演会等も今後も開催していきたいと思っております。

資料学芸課 学芸員 高木翔太